

◎第 152 回定例研究会 10月15日(木) 於:Zoom 及び 国労会館会議室

東京と沖縄の最低生計費 調査比較から見えるもの

中澤 秀一 氏 (静岡県立短期大学部 准教授)

●はじめに

2019年12月に東京都で、2020年7月に沖縄県で、それぞれ若年単身世帯の最低生計費試算調査の結果が公表された。この二つの調査結果を比較したものが表1である。

表1 東京と沖縄の最低生計費の比較

	25歳男性 東京都北区	25歳男性 沖縄県那覇市
消費支出	179,804	179,439
食費	44,361	41,266
住居費	57,292	36,458
光熱・水道	6,955	8,764
家具・ 家事用品	2,540	3,826
被服・履物	6,806	5,021
保健医療	1,009	1,142
交通・通信	12,075	33,794
教養娯楽	25,577	25,620
その他	23,189	23,548
非消費支出	51,938	48,977
予備費	17,900	17,900
最低生計費	197,704	197,339
税込み月額	249,642	246,316
税込み年額	2,995,704	2,955,792
最低賃金額 (2020年)	1013円	793円

25歳の若者がふつうの生活を送るためには、東

京でも沖縄でも月額25万円程度(税・社会保険料込み)が必要であり、現在の最低賃金額では低すぎることに、全国どこでも生計費には差がそれほどないこと等が明らかになった。

●低すぎる最低賃金

沖縄に住む25歳単身者の最低生計費は、246,316円であり、月173.8時間の所定内労働時間で換算すると、1,417円/時間となる。現在の沖縄の最低賃金額は全国で最も低い793円/時間であり、健康で文化的な暮らしを送るために必要な時給とは600円以上もの隔りがある。

東京に住む25歳単身者の最低生計費は、249,642円であり、1,436円/時間となる。現在の東京都の最低賃金額は全国で最も高い1,013円/時間であり、今回の試算から得られた時給とは400円以上もの隔りがある。

●生活にかかる費用に差はない

最低生計費は、全国どこでも同水準にあると言ってよい。ここには、「大都市では生計費が高く、地方都市では低い」という“常識”はみられない。確かに、住居費は東京のほうが2万円以上回るが、反対に交通・通信費は沖縄が2万円以上高くなっている。これは自動車を所有の有無が要因である。自動車が必要である地方の生活費は低くならないのである。

●おわりに

全労連は第30回定期大会にて「全国一律最低賃金アクションプラン2024」を採択した。目標実現のための戦略のひとつに最低生計費試算調査の全都道府県での実施が掲げられた。

*連絡先：〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>